

「そのとき、イエスはでしたちにいわれた。」「わたしのことばをきいているあなたがたにしておく。てきをあいし、あなたがたをにくむものにしんせつにしない。わるぐちをいうものにしゅくふくをいのり、あなたがたをぶじょくするもののためにいのりなさい。あなたのほおをうつものには、もういっぽうのほおをもむけなさい。うわぎをうばいとるものには、したぎをもこぼんではならない。もとめるものにはだれにでもあたえなさい。あなたのもちものをうばうものからとりかえそうとしてはならない。ひとにしてもらいたいとおもうことを、ひとにもしなさい。じぶんをあいしてくれるひとをあいしたところで、あなたがたにどんなめぐみがあるか。つみびとでも、あいしてくれるひとをあいしている。また、じぶんによくしてくれるひとによいことをしたところで、どんなめぐみがあるか。つみびとでもおなじことをしている。かえしてもらおうことをあてにしてかしたところで、どんなめぐみがあるか。つみびとさえ、おなじものをかえしてもらおうとして、つみびとにかすのである。しかし、あなたがたはてきをあいしなさい。ひとによいことをし、なにもあてにしないでかしなさい。そうすれば、たくさんむくいがあり、いとたかきかたのことなる。いとたかきかたは、おんをしらないものにもあくにんに、なさけぶかいからである。あなたがたのちちがあわれみぶかいように、あなたがたもあわれみぶかいものになりなさい。

ひとをさばくな、そうすれば、あなたがたもさばかれることがない。ひとをつみびとだとされるな。そうすればあなたがたもつみびとだときめられることがない。ゆるしなさい、そうすれば、あなたがたもゆるされる。あたえなさい。そうすれば、あなたがたにもあたえられる。おいしい、ゆすりいれ、あふれるほどにはかりをよくして、ふところに入れてもらえる。あなたがたは、じぶんのはかるはかりではかりかえされるからである。」

きょうのふくいんしよをゆっくりよんでみたら、イエスさまがすすめられていることをあたまでわかっているもじっさいするにはとてもむずかしいことだということがわかりますね。しかしイエスさまは「てきをあいし、あなたをにくむものにしんせつにしない。わるぐちをいうものにしゅくふくをいのり、そしてあなたがたをぶじょくするもののために祈りなさい」といっておられます。みんなはこのようなことをされたことはありませんか。リーダーもそのけいけんがあります。そのときとてもかなしく、つらいきもちになりましたが、そのときイエスさまのつぎのことばをおもいました。「ひとにしてもらいたいとおもうことをひとにもしなさい。」と。ですからじぶんがきをつけて、ひとのことをわるくいわない、そのかわりにかみさまにそのひとのためにしゅくふくをしてくださるようにといひます。そのときに、かみさまからたくさんめぐみもらえる。それはむくいです。というのは、いままでのかなしいきもちとつらいきもちがきえて、こころのなかにおだやかなきもちになります。やってみたらどうですか。

つぎにイエスさまが「あなたがたのちち（かみさま）があわれみぶかいように、あなたがたもあわれみぶかいものになりなさい。」といっておられます、というのは、やさしいきもちでひととまじわりなさい、

またきをつけるようにとこのこともいっておられます：

「あなたがたはじぶんのはかるはかりで、はかりかえされる。」ぼく、わたしはひとのことをわるくいたり、ひはんしたり、すると、じぶんにもそのようされますよ。イエスさまがいろいろとすすめられていることになって、わたしたちもやさしいところのひとになりましょう。みんながイエスさまのすすめをひとつだけでもおもいだしたらうれしいです。

## ぬりえ



イエスさまのすすめのなかでここにのこったことを書いてみましょう。